

マスチックワン施工要領書

【重交通量タイプ】

令和3年10月

適応条件


項目	適用基準
用途	横断方向広幅クラック
	ポットホール・マンホールまわり
	橋りょう伸縮装置段差
施工深さ	1cm以上
施工幅	5cm以上
施工面積	1m ² 以内

施工条件

- *再施工が必要なほど激しい損傷部は避けてください。
- *補修する箇所はできるだけ清掃をおこなってください。（ケレン作業を推奨します）
- *降雨、降雪は施工できません。
- *交差点付近の損傷個所には使用しないでください。

材料

1. マスチックワン

材料名	写真
マスチックワン	 <p>姿荷 18.4kg</p>

- *この材料と容器の廃棄は有害特別廃棄物収集場所に処分する。
- *雨に濡れないよう、製品にシートをかけて保管してください。

2. マスチックワン強化保護材

材料名	写真
マスチックワン強化保護材	 <p>姿荷 5kg</p>

- *この材料と容器の廃棄は有害特別廃棄物収集場所に処分する。
- *雨に濡れないよう、製品にシートをかけて保管してください。

性能表

■ マスチックワン

項目	規準値	試験結果	試験
色相	黒		
比重	2.0		
割れ抵抗性 (応力緩和下限温度)		-9.6°C以上	舗装設計施工要領首都高速道路株式会社
剥がれ抵抗性 (破壊回数)		10万回以上	

■ マスチックワン強化保護材



項目	試験結果	試験
圧縮試験	22 N/mm ²	JIS R 5201
曲げ強度	7 N/mm ²	

日常施工温度管理

項目	基準値	備考
路面温度	4°C以上	
マスチックワン加熱温度	190°C~204°C	
プライマーを塗布する温度	60°C以下	
交通開放	40°C以下	

施工機械

1. 溶解釜 メルター30 (特殊バーナー付)

溶解釜 (外部)	特殊バーナー
	

2. 工具

非接触赤外線温度計	アイアンバケツ（取手付）	攪拌棒
		
柄杓	熱コテ電気	熱コテガス
		

その他

- *消火器
- *トーチバーナー
- *プロパンガス
- *手袋
- *バーナー

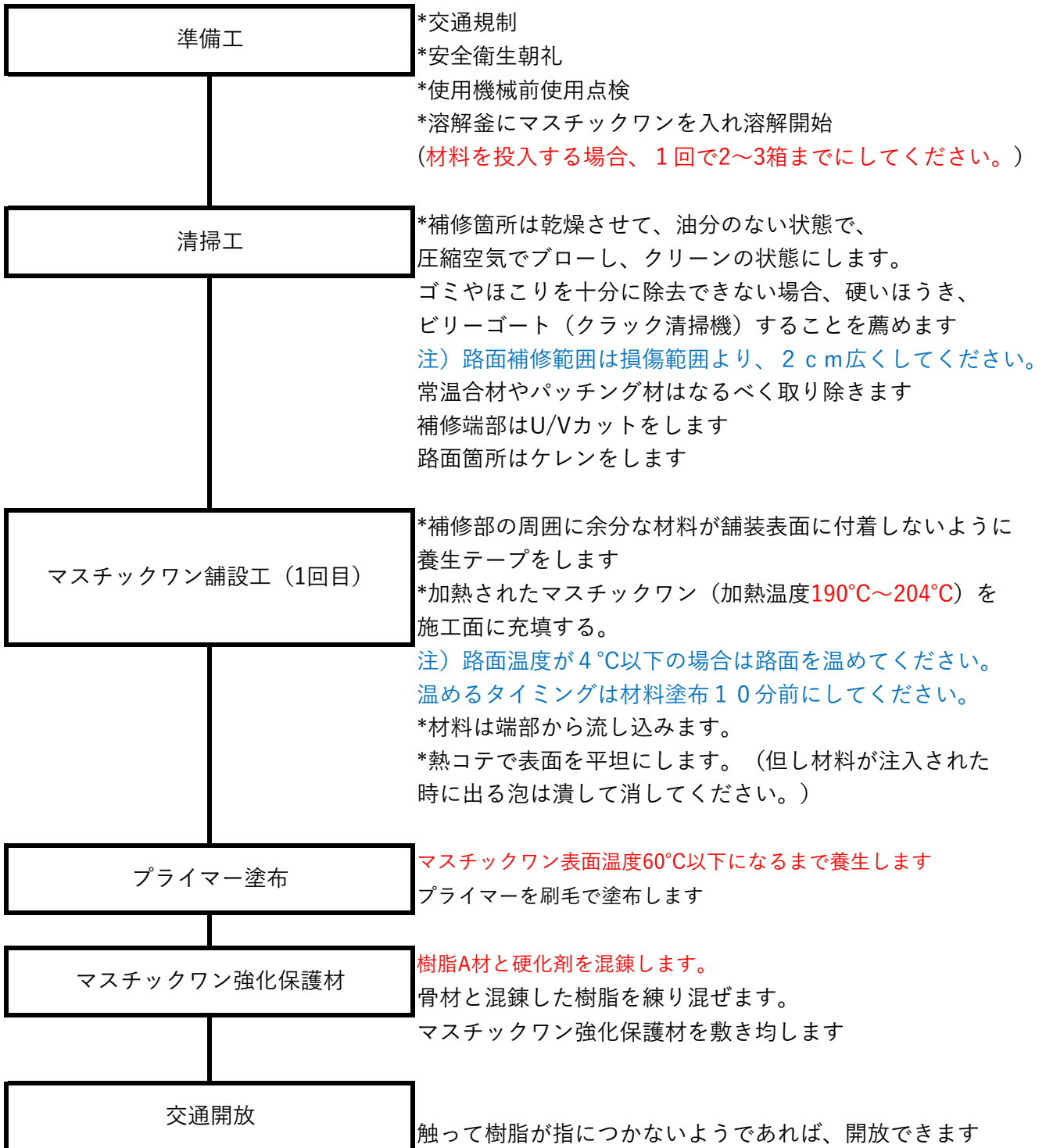


施工注意点

*材料は直火では溶解しないください
引火します
*ミニメルター30を使用の場合
溶解するために火をつける際、一度、特殊バーナーを
引き出してから火をつけてください。釜の中にガスが
溜まっていると、爆発する恐れがあります。

施工方法

施工ポイント…転圧はしません。敷き均します。



マスチックワン【重交通タイプ】 施工手順



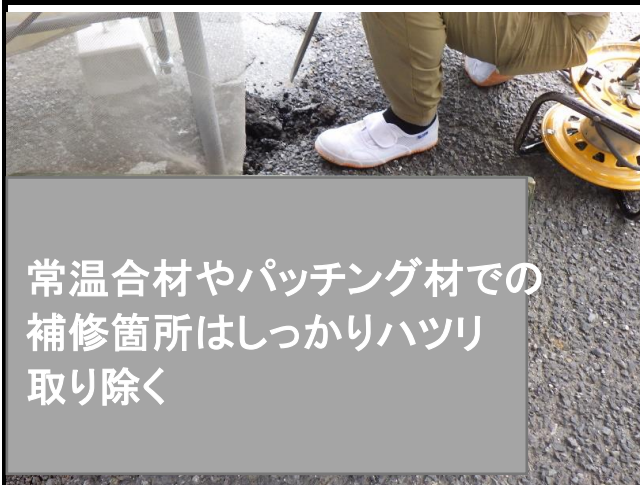
1. 施工前

路面温度が4℃以下の場合は路面を温めてください。



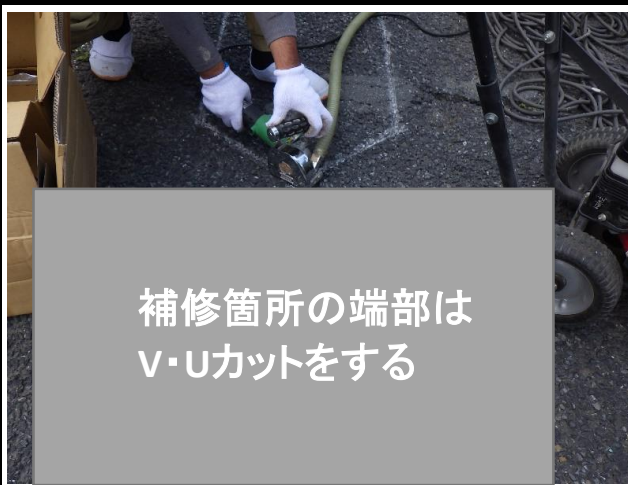
2. 材料溶解

ミニメルター30（溶解釜）に箱からあけて、材料を取り出し、そのまま投入し、火をつけます。



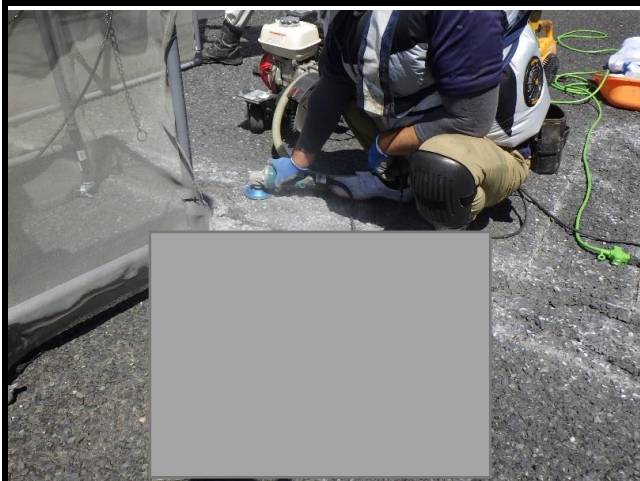
常温合材やパッチング材での補修箇所はしっかりハツリ取り除く

3. ハツリ

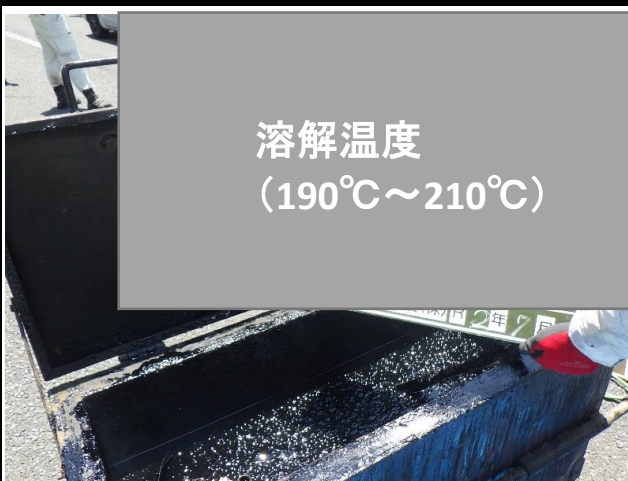


補修箇所の端部はV・Uカットをする

4. V・Uカット



5. ケレン 付着をよくするため、しっかりケレンします。



溶解温度
(190℃～210℃)

6. 材料溶解 焦がさないように混ぜることが重要です。完全に骨材とバインダーが混ぜ合わさったことを確認します。

マスチックワン【重交通タイプ】 施工手順



7. マスチックワン敷き均し
熱コテでマスチックワンを敷き均します。



8. プライマー塗布



9. 混練作業
A材とB材を混ぜた後に骨材と混ぜます。



10. マスチックワン強化保護材敷き均し



11. 完成